

茨城労働局発表
平成22年9月30日

担 当	茨城労働局労働基準部
	安全衛生課長 関 真人
	課長補佐 加藤和夫
	電話 029-224-6215

茨城労働局長安全衛生表彰

～ 茨城県産業安全衛生大会で授与 ～

茨城労働局（局長 おにまる 鬼丸 りょういち 良一）は、安全衛生成績が極めて高い水準に達し他の模範と認められる優良事業場及び地域の中で長年にわたり労働安全衛生関係の業務に従事し、地域、団体、関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人に対し、その努力を称えるため、次の表彰を行います。

1 表彰の種類と事業場数等

- (1) 優良賞 3事業場
- (2) 奨励賞 4事業場
- (3) 功績賞 2名
- (4) 安全衛生推進賞 3名

なお、表彰される事業場等は、別添1のとおりです。

2 表彰式は、平成22年10月5日（火）午後1時から ホテルレイクビュー 水戸において開催される茨城県産業安全衛生大会の会場で行われます。

1 表彰の目的

安全衛生成績が極めて高い水準に達し、他の模範と認められる優良事業場及び長年にわたり労働安全衛生に尽くし、安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人に対し、その努力を称えるとともに、これを県民に周知することにより、安全衛生意識の高揚を図り、もって労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成の促進に資することが目的です。

2 表彰基準

表彰事業場は、次のような共通事項等を満たしており、かつ、安全確保対策、健康確保対策、健康の保持増進対策、快適な職場環境の形成の4つの分野のうちの1つの取組みが、他の模範であることが必要となります。

- ① 安全衛生管理体制が確立し、安全衛生規程が整備され、有効に運営されていること。
- ② 過去3年間、休業災害及び死亡災害がなく、かつ、火災、爆発、崩壊災害がないこと。
- ③ 過去3年間、労働安全衛生法等の重大な違反がないこと。
などです。

3 表彰事業場・表彰者及び表彰のポイント

(1) 優良賞

優良賞は、安全衛生に関する水準が特に良好で、過去に奨励賞を受賞していることが要件となります。優良賞の3事業場は、次の点が評価されて受賞となりました。

- ① 日立化成工業（株）山崎事業所（勝田）〈ひたちなか市〉は、10年前よりリスクアセスメントを導入、昨年1月にOHSASの認証を取得するなどより完成度の高いリスクアセスメントの実施に努め、15年間無災害が継続していること。
- ② （株）日立電線 電線工場 〈日立市〉は、新規業務、新規設備導入時、新規化学設備導入時にリスクアセスメントを実施、許容できるリスクを確認するまで業務を開始しないなど厳しい安全衛生管理を進め、6年間、133万時間の無災害が継続していること。
- ③ 住金鉱化（株）本社 〈鹿嶋市〉は、従来から危険予知活動など自主的安全衛生活動に取り組んできたが、平成19年よりリスクアセスメントを導入し、リスクアセスメントを有効な手法と位置づけ、計画的・継続的な安全衛生管理活動を展開、23年間無災害が継続していること。

※なお、日立電線（株）電線工場は、過去に労働大臣安全優良賞を受賞しています。

10年以上経過すると、再度の受賞の対象となります。その他の事業場は、初受賞です。

(2) 奨励賞

奨励賞の4事業場のうち、安全確保対策分野の3事業場は、いずれも安全衛生管理活動が良好で、長期間・長時間にわたり無災害であり、現在も継続中です。

- ① 石岡加工(株) <石岡市> 平成11年より無災害
- ② アルメテックス(株)関東工場 <古河市> 平成16年より無災害
- ③ 鴻池運輸(株)稲敷事業所 <稲敷市> 平成16年より無災害

また、快適な職場環境の形成分野の1事業場は、茨城労働局長から快適職場推進計画が認定され快適な職場環境づくりに取り組んだ事業場です。

- ④ (有)井上製作所 <常陸太田市>

(3) 功績賞

功績賞の受賞者は2名です。

- ① 長谷川 俊文(はせがわ としゆみ)氏は、13年間にわたり、(社)竜ヶ崎労働基準協会の常任理事として、安全衛生技能講習や安全衛生大会の開催などを通じ地域の事業場の安全衛生水準の向上に貢献が認められ、近年は茨城労働基準協会連合会の理事として県内事業場の安全衛生水準の向上に貢献が認められること。
- ② 友部 昌生(ともべ まさお)氏は、9年間にわたり、(社)日本ボイラ協会茨城支部の事務局長として、各種安全衛生技能講習の実施を通じ県内のボイラー等圧力容器を取扱う事業場の安全衛生水準の向上に貢献が認められること。

(4) 安全衛生推進賞

安全衛生推進賞の受賞者は3名です。

- ① 渡辺真一(わたなべ しんいち)氏は、16年間にわたり建設業労働災害防止協会茨城支部筑西分会の安全指導員として、安全パトロール、事業場の指導を通じて、地域の事業場の安全衛生水準の向上に貢献が認められ、近年は建設業労働災害防止協会茨城支部筑西分会理事として災害防止活動の推進に貢献が認められること。
- ② 北上健三(きたかみ けんぞう)氏は、8年間にわたり快適職場推進アドバイザーとして、快適職場推進認定事業場数を全国的にも高い認定件数に引き上げ、県内事業場の快適職場形成の推進に貢献が認められること。
- ③ 加藤邦雄(かとう くにお)氏は、6年間にわたり建設業労働災害防止協会茨城支部が行う中小総合工事業者指導力向上事業等の委託事業の指導員・相談員として、安全管理能力の向上、手すり先行工法・リスクアセスメントの普及など中小事業場の安全衛生水準を引き上げ、県内の専門工事業者を含めた建設業者の労働災害防止の推進に貢献が認められること。

4 茨城県産業安全衛生大会

- (1) 表彰式を含めた大会の日時、次第等は、別添2のとおりです。
- (2) 茨城県産業安全衛生大会は、昭和24年以来、県内事業者の自主的な労働災害防止活動及び労働衛生管理活動を促進するとともに、広く県民の安全衛生意識の高揚と安全衛生活動の定着を図るために、毎年10月に開催されてきたものです。

主催者は、(社)茨城労働基準協会連合会をはじめ県内6災害防止団体、後援者は、茨城労働局のほか茨城県、(社)茨城県経営者協会、日本労働組合総連合会茨城県連合会(連合茨城)により、開催されます。

- (3) 安全衛生管理の事例発表は、本年度、厚生労働大臣表彰奨励賞を受賞した旭化成メタルズ(株)友部工場の環境安全担当課長永原勝美氏による『旭化成メタルズ友部工場の安全活動』を予定しています。
- (4) 職場において、うつ等のメンタルヘルス不調者が増加しているため、特別講演については、本年度は(株)日立製作所日立健康管理センタ産業医中谷 敦氏による『実践的なメンタルヘルス対応～日常から休職・復職まで～』と題する講演を予定しています。
- (5) 会場には、茨城産業保健推進センター、労災保険情報センター、労働安全衛生コンサルタント会の相談コーナーを設けて、リスクアセスメントの導入、健康管理、作業環境の改善等の相談を受付けます。

また、看護師による健康測定(血圧、体脂肪率や腹囲測定など)コーナーも設けられます。